



令和2年度 魚津市当初予算の概要

- ◎一般会計 165億8,700万円 (前年度比 △3億9,700万円 △2.3%)
- ◎財源不足のための基金繰入(R1当初 4億2,700万円)は、解消

◆一般会計歳入・歳出

(単位：百万円)

区分	R2	R1	増減
歳入	16,587	16,984	△ 397
市税	6,447	6,549	△ 102
譲与税・交付金	1,302	1,091	211
地方交付税	3,038	3,015	23
基金繰入	58	451	△ 393
うち財源不足に係るもの	0	427	△ 427
上記以外	58	24	34
国県補助	3,223	3,235	△ 12
地方債	1,042	1,051	△ 9
うち臨時財政対策債	602	625	△ 23
上記以外	440	426	14
寄附金	205	27	178
その他	1,272	1,565	△ 293
歳出	16,587	16,984	△ 397
人件費	2,797	2,629	168
うち会計年度任用職員	267	0	267
上記以外	2,530	2,629	△ 99
社会保障費	3,190	3,165	25
公債費	1,493	1,541	△ 48
物件費	2,757	2,999	△ 242
うち会計年度任用職員対象分	0	249	△249
上記以外	2,757	2,750	7
補助費等	2,396	2,408	△ 12
繰出金	1,843	1,834	9
普通建設	975	1,155	△ 180
災害・除雪	187	166	21
その他	949	1,087	△ 138

◆財政健全化(行財政改革)の効果

今回の当初予算で反映した行財政改革の効果は、財政健全化計画の目標額(△459百万円)を上回る。

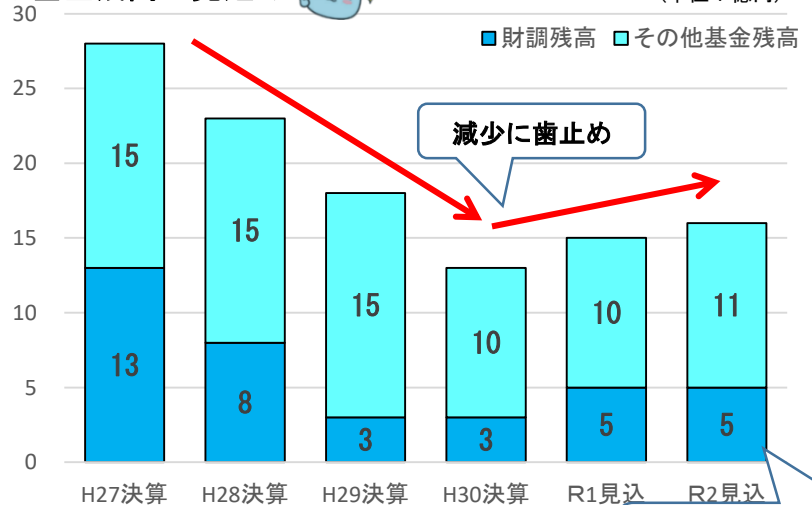
(単位：百万円)

財源不足解消に向けた対策	R2予算	主な対策
①投資的経費抑制	△ 28	国の有利な財源を活用した事業の前倒し、市債の活用
②公債費の平準化	△ 221	市債返済額の平準化
③公共施設の見直し	△ 21	公共施設の閉園、閉館、開館時間見直し
④事務事業の見直し	△ 40	補助金の見直し26事業等
⑤人件費削減	△ 99	定員管理等
⑥歳入見直し	88	市税徴収率、使用料等見直し等
合計(①～⑤-⑥)	△497	

◆基金残高の見込み



(単位：億円)



(目標) R6年度末までに財政調整基金10億円まで積立



歳入は、法人税の税率見直しによる市税の落ち込みが大きいが、譲与税・交付金や地方交付税の増等で、総額を確保。また、財源不足の解消により基金繰入は大幅に減少。

歳出は、会計年度任用職員制度の開始による負担増や少子高齢化による社会保障費が増加したものの、定員管理等人件費削減や事務事業の見直しにより、全体規模は抑制。普通建設事業は、にじいろこども園等の大型建設事業が終了したことによる減少。

特定政策分野における事業概要

◆子育て支援

安心して子どもを産み育てることができる環境整備を進めます。

(拡) 子ども健診事業2,488千円

(新) 産後ヘルパー派遣モデル事業430千円

(継) 経田保育園調理室外改修工事29,766千円

(拡) 公園施設長寿命化対策事業

令和元年度3月補正前倒し分30,000千円

令和2年度分30,000千円



◆教育環境の充実

未来を担う子どもたちの教育環境整備に努める一方で、体力の向上やスポーツの楽しさを学ぶ機会を創出します。

(拡) 小学校普通教室電子黒板整備6,200千円

(新) 日本ポッチャ選手権開催支援事業1,163千円

(新) トップアスリートによるスポーツ教室開催事業1,130千円



◆観光振興

魅力ある地域資源を活用し、県内外に向けて効果的に情報発信することで、交流人口の拡大を進めます。

(新) 魚津の果樹応援事業738千円

(新) 文化財関連事業費 計24,224千円

・東山円筒分水槽周辺整備事業20,064千円

・国登録文化財普及啓発事業2,000千円

・東山円筒分水槽PR事業

～うおづの水がもたらすモノ～660千円

・「魚津浦の蟹気楼」企画展事業1,500千円



◆産業振興

新たな雇用の創出やU I Jターンの推進を図る一方で、農林水産業等の付加価値を高めることで各産業の振興を図ります。

(拡) サテライトオフィス設置促進事業17,854千円

(拡) ふるさと寄附推進事業200,000千円



◆魅力的なまちづくり

①にぎわいの創出

魚津での暮らしの魅力を発信し、地域の賑わいを創出します。また、市街地を中心に都市機能を高めます。

(新) 片貝コミュニティセンター化事業5,017千円

(拡) 魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業

令和元年度3月補正前倒し分40,000千円

令和2年度分16,500千円



②災害に備えたまちづくり

近年、全国各地で、多発する豪雨、地震等の災害に備えたまちづくりを進めます。

(新) カメラ搭載型ドローン配置1,000千円

◆人口減少・高齢社会対策

健康への意識を高め、健康寿命の延伸を目指します。また、介護予防を起点とした新しいまちづくりに取り組みます。

(拡) 介護予防通所型予防事業(さんさん介護予防倶楽部 じゃ〜んとこい)10,142千円

(拡) 生活支援サービス事業(旧経田福祉センター)2,300千円

(新) 子宮頸がん検診 HPV検査導入モデル事業3,443千円



財源不足への対応

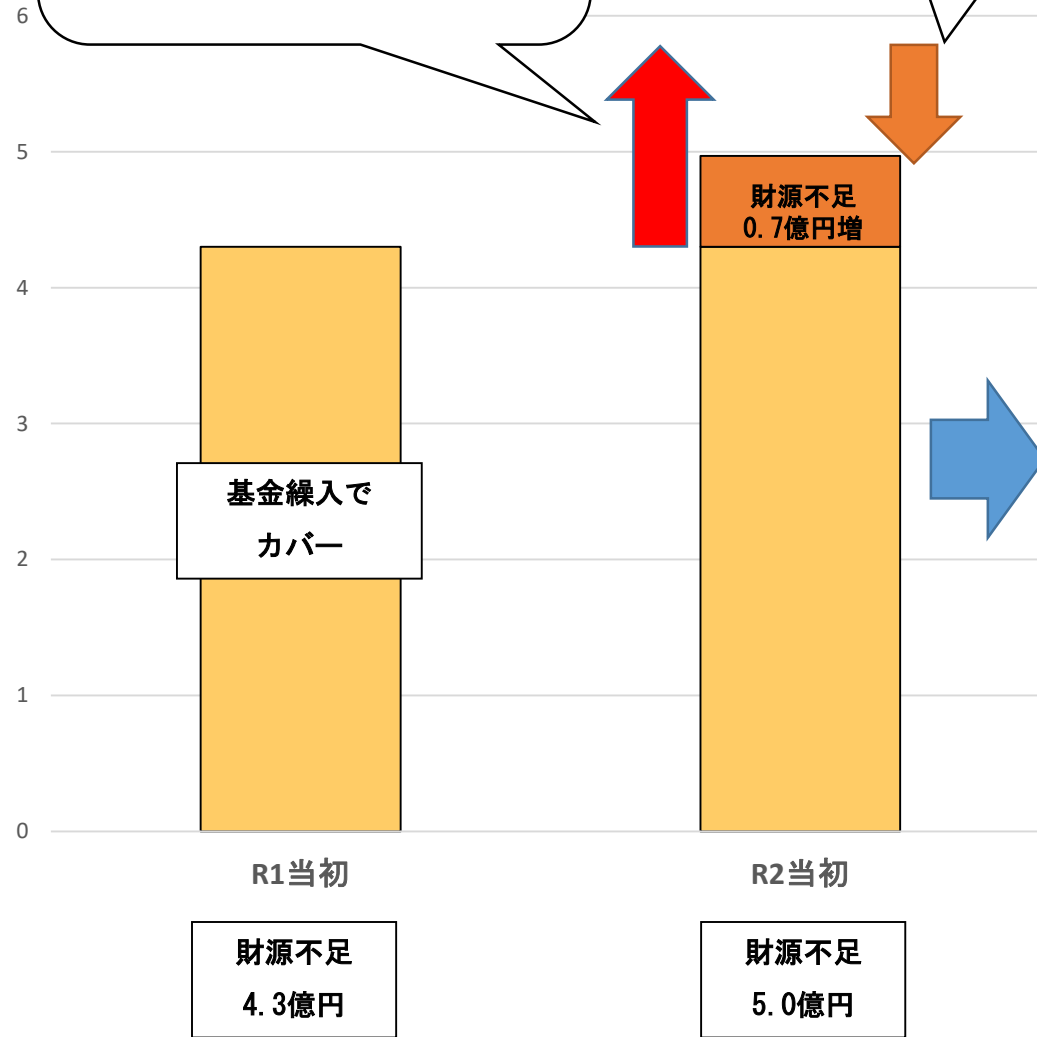


主な歳出増(財源不足拡大)+1.8億円

- ①会計年度+0.2億円
- ②扶助費+0.3億円
- ③医療介護繰出+0.3億円
- ④ICT環境整備+0.5億円
- ⑤デジタル教科書+0.1億円
- ⑥市長市議選挙+0.4億円

主な歳入の増(財源不足縮小)+1.1億円

- ①市税△1.0億円
- ②譲与税・交付金・交付税+2.1億円



(単位：百万円)

財源不足解消に向けた対策	目標額	R2予算
①投資的経費抑制	△ 30	△ 28
②公債費の平準化	△ 218	△ 221
③公共施設の見直し	△ 21	△ 21
④事務事業の見直し	△ 40	△ 40
⑤人件費削減	△ 82	△ 99
⑥歳入見直し	68	88
合計(①~⑤-⑥)	△ 459	△ 497

旧福祉センター閉鎖、
西布施保、住吉保閉園
歴民開館時間見直し

奨励的な補助金の
見直し26事業△11
事務事業の見直し△29

定員管理による見直し△83
特別職・管理職給料カット△10
時間外手当削減△6

市税徴収率UP+6
使用料見直し+41
ふるさと寄附+41

財政健全化の
取組(5.0億円)
で解消